

# 第1学年 外国語活動 学習指導案

令和3年2月9日（水）5校時

第1学年1組 計32名

男子14名 女子18名

指導者 渡邊 恵理

**研究主題** 「Let's try communication more!」～児童が主体的に取り組む外国語教育の創造～

## 目指す児童像

簡単な表現や言葉を用い、友達と楽しく関わり合える子ども

1 単元名「6年生ありがとう！ Thank you カードをつくろう」

2 単元の目標

(1) 知識・技能

色の言い方に慣れ親しむ。

(2) 思考力・判断力・表現力

持っている色を尋ねる表現を使って、伝え合おうとする。

(2) 主体的に学習に取り組む態度

色を表す言葉をつかって、進んで友達とコミュニケーションをとろうとする。

3 評価規準

観点	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	・色の言い方に慣れ親しんでいる。	・持っている色を尋ねる表現を使って、伝え合おうとしている。	・色を表す言葉をつかって、進んで友達とコミュニケーションをとろうとしている。

4 単元について

これまでの外国語活動では、数 (number)、動物 (animal) について活動を楽しんできた。体を動かしながら歌を歌ったり、動物の動きをしながら名前を言ったりして、英語に親しんできた。英語集会では、6年生にリードしてもらいながら自分の好きなものや、今日の気分を伝え合う活動をしてきた。

本単元では、お世話になった6年生に Thank you カードを作る活動を通し、色の表現について慣れ親しませたい。色の英語表現は、日常生活で耳にする機会も多く、児童にとって馴染みやすいと考える。また、活動意欲を高めるため、事前に6年生にお世話になったことを思い出させ「感謝を伝えたい。」という児童の気持ちを引き出す。授業の導入では、絵本「COLOR SURPRISES」の読み聞かせをする。様々な色とその色に合った生き物がとびだす絵本で、極力シンプルな構成で、色に着目しやすいものにした。児童が色の表現を覚えられよう、毎時間同じ絵本の読み聞かせをし、「Next color…」 「What is this?」等、児童に問いかけながら読み聞かせをしていく。色に関するゲームも十分に取り入れ、表現に慣れ親しませたい。

自分の欲しい花びらの色を伝え、受け渡しする活動を通して、色や簡単な表現に慣れ親しませると共に、友達との関わり合いを大切にしたい言語活動にしたい。

## 5 主な表現・語彙

### 【表現】

①A&B: Hello!

### もらえるパターン

②A: Do you have ~? B : Yes, Here you are.

③A: Thank you.

④B: You are welcome.

⑤A&B : Bye.

### もらえないパターン

②A: Do you have ~? B : Oh, no.

③A: Ok

④A&B : Bye.

【語彙】 【color】 : red, blue, yellow, orange, green, pink, purple, white

## 6 児童の実態

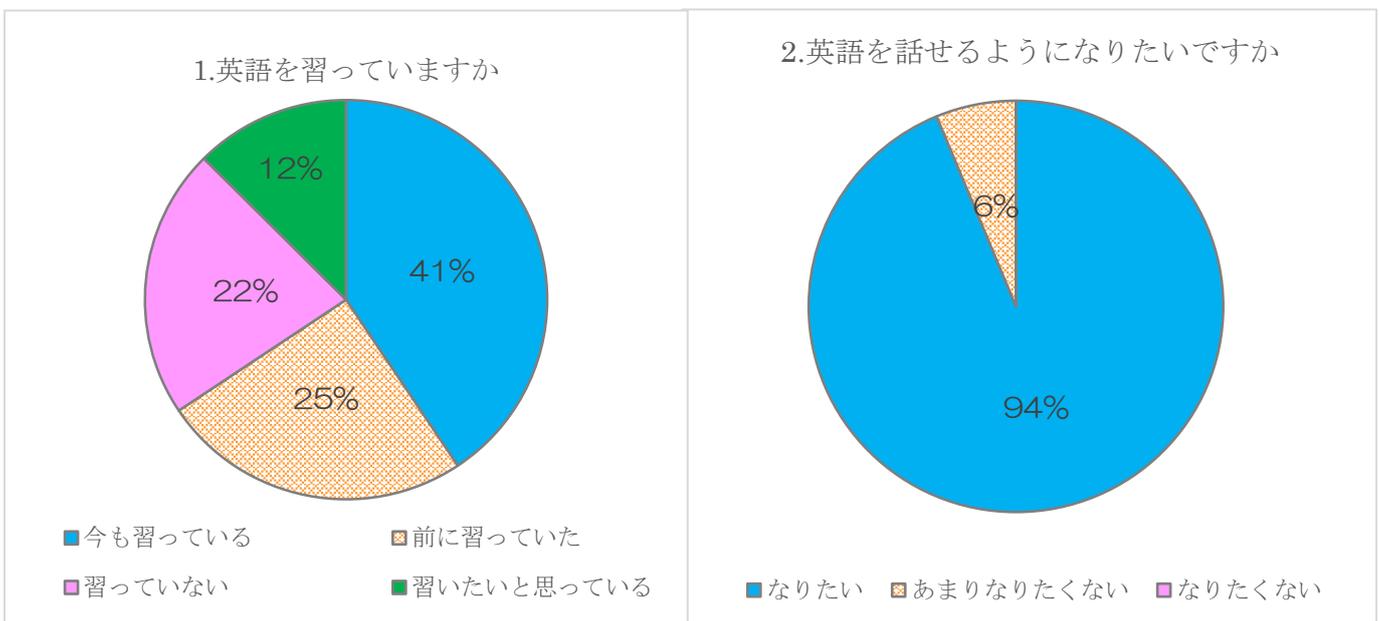
### (1) 教師から見た実態

本学級の児童は、素直で明るく、活発な児童が多い。

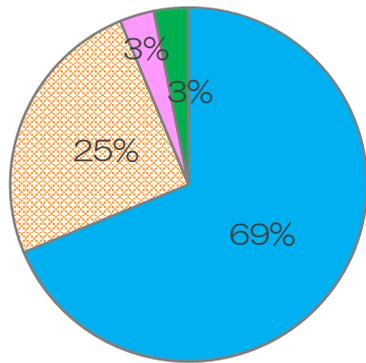
外国語の授業を前向きに捉えている児童が多く、楽しんで活動に取り組んでいる。特に英語の歌や、体を動かして表現することに積極的である。英語が聞こえると、真似をしてみようと自然と声を出している様子も見られる。

児童一人一人は、英語を楽しんでいるが、児童同士関わり合いながら英語でコミュニケーションをとる経験は少なく、慣れない言語でのやり取りに難しさを感じている児童もいる。この実態から、児童が楽しく活動できる学習ゴールを設定し、英語に親しませながら、児童同士のコミュニケーションが必然的にとれる活動を取り入れていく。

### (2) 児童の実態調査結果及び考察

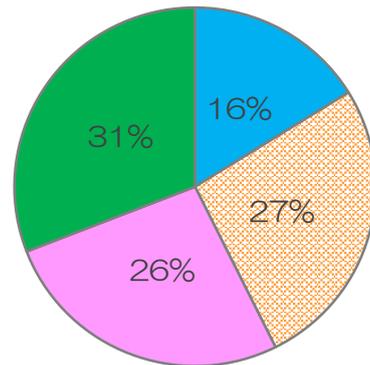


3.英語の歌を聴いたときに真似しようと思いますか



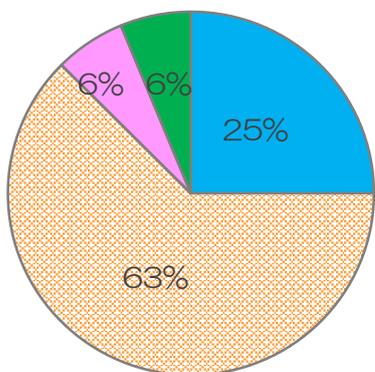
■ したい                      ■ あまりしたくない  
■ 全くしたくない          ■ わからない

4.どんな時に英語を使いたいと思いますか



■ 授業中                      ■ 友達との会話  
■ 町で外国人に会ったとき      ■ 先生に英語で何か伝えたい

5.英語の授業で友達と話したいと思いますか



■ 思う                      ■ 少し思う  
■ あまり思わない          ■ まったく思わない

この結果と日々の児童の姿を重ね合わせ、次のように考察した。

質問1から、英語に少しでもふれたことのある児童は66%であった。3割以上の児童が英語に全くふれたことがないことが分かったが、初めての小学校での外国語活動に戸惑っている児童は少なく、楽しく活動に取り組んでいる。

質問2から、英語を話せるようになりたい児童は94%であった。そのことから、前向きに外国語の授業に参加しようとする児童が多いことが分かる。

質問3より、英語の学習が始まる前は7割近くの児童が英語の歌を真似したいと考えていたが、実際に授業が始まってからは、更に多くの児童が自然と英語の歌を真似するようになってきた。

質問4より、授業中以上に友達や先生、町の外国人と直接、英語を使いたいと考えている児童が多いことが分かった。授業中でも、実際にコミュニケーションに近い感覚で、楽しみながらコミュニケーションをとるゲームを取り入れていく。

質問5より、英語の授業で友達と話したいと思う児童は、少しでも思う児童を合わせると88%を占めることが分かる。しかし、英語の授業で友達と話したいと思わない児童も、わずかにいることが分かった。初めての英語で、話すことに戸惑いがあるのではないかと考える。戸惑いを感じている児童もチャンツ（リズム）で英語のやり取りを覚えられるようにし、児童が関わり合いながら楽しめるゲームを取り入れ、英語に少しずつ慣れ親しませたい。

## 7 研究主題に迫るための指導の工夫

○「児童が主体的に取り組む」ための手立て

### (1) 身近な表現や言葉に慣れ親しむ

#### 外国語に慣れ親しむための導入の工夫

歌を取り入れているが、ただ歌うだけではなく、身振り手振りで表現することによって、楽しみながら身近な表現や言葉に慣れ親しむことができるようにした。♪Hello song で身振りをつけるにあたり、手本として見せた教師の身振りをベースとして、児童からアレンジの提案があった。児童の意見を動きの中に反映させ、体を動かしながら、主体的に楽しく外国語活動に取り組もうという雰囲気作りをしている。

#### 言葉や表現の掲示の工夫

本単元で使う単語（色）を視覚的に分かるように、色カードを活用する。視覚的な情報と耳からの情報があることで、色と音声を結びつけやすくなる。

また、花びらシールを受け渡しするときに使う表現は、1年生の実態として、視覚的情報が多いと理解しにくいことに加え、英文を掲示しても児童は読むことが難しいと考える。そこで、英文は掲示せず、今回のやり取りで重要な場面（①シールを受け渡ししている場面・②相手が欲しいシールを持っていないと伝えている場面）の絵のみ掲示する。場面の絵を指しながらチャンツを歌うようにし、やり取りの場面が視覚的に分かるようにする。また、花びらシールを集める活動中にチャンツを流し続け、分からなくなった児童は音声で思い出せるようにした。

### (2) コミュニケーションを楽しむ

#### 児童にとって必然性のある活動内容の工夫

Thank you カードを作って、6年生に感謝の気持ちを伝えることを目的とした活動をゴールに設定した。6年生にお世話になったことを思い出させ、児童から感謝の気持ちを伝えたいという思いを持たせる。思いを持った児童は、より活動意欲が高まっていくと考える。

また、カード作りで使うシールを、英語を使ったゲームで集めるようにすることで、より活動に必然性を持たせることができると考える。

## 8 指導計画と評価計画（全3時間）

時	○目標 ・学習活動	◎支援 ★評価【観点】(方法)
1	<p>○6年生に Thank you カードを送りたいという気持ちを持ち、色の名前をどのように言うのかを知り、色に関する遊びを楽しむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ Thank you カードのイメージをもち、英語で花びらシールを集めることを知る。</li> <li>・ 読み聞かせ「COLOR SURPRISES」</li> <li>・ 単語（色）の確認をする。</li> <li>・ ミッシングゲーム</li> <li>・ 体を動かしながら「Colors」を歌う。</li> </ul>	<p>◎6年生に感謝の気持ちを伝えたいという気持ちにさせ、活動に意欲をもたせる。</p> <p>◎完成したありがとうカードを見せて、できあがりのイメージをもたせる。</p> <p>◎絵本を読み始める前に、表紙だけを見せて、どんな色が出てきそうか考えさせる。</p> <p>◎日本語と英語の発音の違いに気付くように、日本語とは異なるアクセントで読む。</p> <p>★日本語と英語では、発音の仕方に違いがあることに気付いている。 【発言・行動観察】</p> <p>★進んで発声している。【発言】</p>

2	<p>○カード(自分用)を作成するために花びらを集める活動を行い、欲しい色を持っているか尋ねたり、渡したりする表現を知り、慣れ親しむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・読み聞かせ「COLOR SURPRISES」</li> <li>・体を動かしながら「Colors」を歌う。</li> <li>・Thank you カードを作成する為に、欲しい色を伝えたり、渡したりする表現を知る。</li> <li>・チャンツで、受け渡しの表現に慣れる。</li> <li>・児童同士でシールの受け渡しを練習する。</li> <li>・花びらシールを集め、自分用にカードを作る。</li> </ul>	<p>◎6年生によりよいデザインの Thank you カードを作れるよう、練習で作ることを伝える。 (◎Thank you カードの花は、事前に配色だけ児童が色えんぴつで塗って決めておく)</p> <p>◎児童に問いかけながら、読み聞かせをする。</p> <p>◎繰り返し受け渡しの表現を発話させ、自信をもって発話できるようにする。</p> <p>◎デモンストレーションで、教師と児童でシールの受け渡しを練習する。</p> <p>◎ゲームのルールを黒板に貼ってから、説明する。</p> <p>★相手に欲しい色の花びらを伝えたり、その色を渡したりする表現を発話し、慣れ親しんでいる。</p> <p>【行動観察・カード】</p>
3 (本時)	<p>○欲しい色を伝えたり、渡したりする表現を使い、8色の花びらを集め、6年生へのありがとうカードを作成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・読み聞かせ「COLOR SURPRISES」</li> <li>・「Colors」を歌う。</li> <li>・チャンツで欲しい色を伝えたり、渡したりしやりとりの表現に慣れ親しむ。</li> <li>・児童同士でありがとうカード作りのやりとりを練習する。</li> <li>・Thank you カードに必要な花びらのうち、自分の持っていない色のシールの花びらを集める活動をする。</li> <li>・集めることのできた色のシールを、歌いながら発表する。</li> </ul>	<p>(◎Thank you カードの花は、事前に配色だけ児童が色えんぴつで塗って決めておく)</p> <p>◎児童に問いかけながら、読み聞かせをする。</p> <p>◎チャンツを繰り返し行うことで、自信をもって活動に進めるようにする。</p> <p>◎デモンストレーションで、教師と児童でシールの受け渡しを練習する。</p> <p>◎シールを8色集め終わった児童は、花の中心部分の色シールを集めるように伝える。</p> <p>★相手に欲しい色の花を伝えたり、その色を渡したりし、Thank you カードを完成させようとしている。</p> <p>【行動観察・カード】</p>

9 本時の展開 (3 / 3)

(1) 目標

持っている色を尋ねたり、答えたりして、コミュニケーションをとろうとする。

(2) 展開

時間	学習活動	◎指導上の留意点★評価規準 ◇教師の活動	準備物
導入 10分	1 Greeting ♪Hello song 2 Warm up ♪Colors 3 色の語彙を復習する。 ・フラッシュカード ・ミッシングゲーム 4 読み聞かせを聞く。	◎歌に合わせて体を動かしたり、ゲームをしたりすることで、楽しい雰囲気の中で学習が始まるようにする。 ◇児童と一緒に歌ったり、ゲームをしたりする。  ◎読み聞かせをするにあたり、色を意識して聞くように促す。	PC、TV   色カード  絵本
展開 30分	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">             いろいろのシールを あつめよう。           </div> 5 本時の学習内容を確認する。 6 チャンツを通して、花びらシールの受け渡しの表現を確認する。 7 シールの受け渡しを練習する。 8 カードに色々な色の花びらを集め、6年生にプレゼントする Thank you カードを作る。  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <b>やりとり例</b>              A: Hello!              B: Hello!           </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <b>もらえるパターン</b>              A: Do you have ~?              B: Yes. Here you are.              A: Thank you.              B: You're welcome.              A&amp;B: Bye.           </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <b>もらえないパターン</b>              A: Do you have ~?              B: Oh, no..              A: OK.              A&amp;B: Bye.           </div>	◇めあてを掲示する。 ◇花びらシールの受け渡しの表現を黒板に示す。(児童が活動し始めたら掲示をはがす。) ◎自然な流れで言う Hello! や Thank you などは視覚的な情報を減らすために掲示しない。 ◎自分が言える範囲の表現で伝えられればよいことを伝える。 ◎チャンツを繰り返し行うことで、自信をもって活動を進めるようにする。 (◎Thank you カードの花は、事前に配色だけ児童が色えんぴつで塗って決めておく。花びらシールも事前に配っておく。)  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <b>ルール</b> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1人1色(12枚)のシールを持ち、友達に見えないようにする。</li> <li>・花びらを集めて貼るカードをもって、8色の花びらシールを集める。</li> <li>・欲しい色を相手が持っていたら交換できる。</li> <li>・シールを8色集め終わった児童は、花の中心部分に、自分の好きな色のシールを何枚でも集めることができる。</li> </ul> ★相手に欲しい色の花を伝えたり、その色を渡したりし、Thank you カードを完成させようとしている。【行動観察・カード】	花びらシールカード

ま と め 5 分	<p>9 振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本時を振り返り、持っている色を身体表現をして楽しむ。(ハレルヤ)</li> </ul> <p>10 ♪Good-bye Song</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・英語の歌に合わせて体を動かす。</li> </ul>	<p>◎歌に合わせて体を動かし、楽しい雰囲気で行われるようにする。</p>	PC、TV
-----------------------	---	---------------------------------------	-------

(1) 本時の視点

- ・6年生にプレゼントする Thank you カードの作成を通して、色を集める活動は、児童の主体的な活動を促す上で有効であったか。

10 板書計画

